

# 創発カワラバン



ヒルサイド・Y150つながりの森は2009年7月4日(土)～9月27日(日)開催!

会場:横浜動物の森公園(ズーラシア隣接地区) 主催:(財)横浜開港150周年協会

vol. 12



◀ 会場のシンボルとなる「竹の海原」の1/100模型

## 「竹の海原」の姿が創発メンバーの前に初披露されました。

9月6日に開催された「出展計画書作成ワークショップ」最終回の中で、「ヒルサイド・Y150つながりの森」会場のシンボルとなる「竹の海原」の1/100模型が、初めて披露されました。竹の海原は、横浜市内の竹林から切り出される孟宗竹を使って建てられる国内最大級の竹の建造物です。今回お披露目された模型は、竹の海原の姿を細部にわたりそのまま表現したものです。

説明のためにワークショップ参加者の前に立った榎井正澄ヒルサイド会場ディレクターは、竹を使う理由として「こ

れからの150年を考えて、緑とのつながりを取り戻す」ことを強調しました。横浜の貴重な緑である里山は、竹によって侵食されています。その竹を伐採してヒルサイド会場で活用することにより、里山を守る意義とともに、竹の利用方法を示



していくことをめざしています。

竹の海原は、屋根も壁も竹でつくられた半屋外の空間です。その中には、創発メンバーの出展ゾーンが配置されます。榎井ディレクターは「風通しがよく、光と日陰がある居心地の良さの中に身をおいていただきたい」と語っていました。

榎井氏の説明が終わると、模型のまわりに創発メンバーが集まり、内部の様子をのぞきこんだり、来場者の動線を確認したりしながら、自分たちの舞台となる会場の姿に出展イメージをふくらませていました。

## 2009年、50年に一度の機会を参加体験しよう。横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」Y150つながりの森は対話・参加・体験のゾーン

母なる港・マザーポート横浜には、多様な「チカラのたね」に育まれた横浜市民、横浜ゆかりの企業・店舗、アーティスト、映像作家などが一堂に会し、「海」「街」「自然」が生きる「ベイサイド」「ヒルサイド」「マザーポート」3つのエリアで横浜の魅力・歴史・未来を凝縮した祭典を繰り広げます。

### ヒルサイド・Y150つながりの森

ヒルサイドの会場となるズーラシア隣接地区で2009年7月4日(土)～9月27日(日)に開催されます。横浜で伐採した竹で作る、日本最大級の竹の大屋根(竹の海原)が会場中央に出現します。ここでは横浜の市民自らが中心となって企画出展をする(市民創発プロジェクト)が展開されます。自然あふれる会場で、トークショー、ワークショップ、パフォーマンスなど、さまざまな参加体験ができるプログラムをご用意しています。



## イベントの具体化が進むごとに 創発メンバーの真剣さが増しています。



設けられました。(写真左・下)

清原理チーフファシリテーターからエリアの形状の説明を受けながら、展示用のパネルや机、椅子をワークショップ向け、展示向けなどのシミュレーションで配置すると、「この机のサイズは対話するのにいいね」とか、「展示台の数が足りるだろうか」とか、「思っていた感じと違うなあ。配置を考え直さないと」といった会話が創発メンバーの間で熱心に交わされていました。

ある参加者は「これでだいぶイメージがわきました。今日参加することで自分のテンションをあげようと思っていたのでいい機会になりました」と話していました。今回、出展内容を具体的に考える場を得たことで、創発メンバーそれぞれが自分の課題を意識して、より詳細な計画づくりへと進みだしたようです。

出展支援プログラムの前半を締めくくる「出展計画書作成ワークショップ」が、9月6日・7日に全日程を終了しました。このワークショップは、9月30日に締切日をむかえる出展計画書提出に向けて、プロジェクトの具体化に頭を絞る場でした。

創発支援プログラムがはじまった1月～3月のワークショップでは会場に笑顔があふれていましたが、夢を描く段階から具体的にプロジェクトの細部を詰めていく段階に入り、参加している創発メンバーの表情も真剣なものに大きく変わっています。

今回のプログラムは、参加者それぞれが予算書作りに取り組むことからスタートしました。参加メンバーのほとんどが予算書を書くのは初めてです。予算を立てようと思うと、どんな出展をするのか内容を具体的に固める必要があります。出展ブースのイメージをイラストに描いたり、どんな備品が必要かリストアップしたり、予算書作りを通して自分のプロジェクトをあらためて考える時間となりました。

さらにこの日は、出展エリアとなる「つながりの広場」の実寸空間が用意され、エリアの実際の広さを体験する機会が



## イトーヨーカドーで ズーラシアで 横浜ライフデザインフェアで PR活動展開中！



▲ズーラシアに登場してヒルサイドをPRしたたねまる (8月31日 撮影:事務局)

金沢まつり花火大会が開かれた8月23日、イトーヨーカドー能見台店にY150のPRコーナーが登場し、たねまるのパフォーマンスと公式グッズの販売が行われました。これは創発メンバーの発案による企画で、店内で愛嬌を振りまくたねまるが子どもたちに大人気でした。

8月30日・31日には、よこはま動物園ズーラシアの園内にY150つながりの森の紹介

コーナーが設置され、市民創発カフェが開店しました。カフェでは「たねまる&ヒルサイドクイズ」が行われ、クイズを楽しむ親子連れで大盛況でした。当初の予想を大きく超えて時間帯によっては順番待ちになるほどの賑わいとなり、スタッフも大忙しでした。

9月20日・21日には、パシフィコ横浜で開催された横浜ライフデザインフェア2008にY150の紹介ブースを出展しました。

## ヒルサイド・Y150つながりの森は対話・参加・体験のゾーン

ヒルサイド・Y150つながりの森は2009年7月4日(土)～9月27日(日)開催!

<http://hill.yokohama150.jp>

編集・発行元:ヒルサイド市民参加事務局(2008年9月25日発行)

(写真撮影:高橋宗正)

お問い合わせ/(財)横浜開港150周年協会「ヒルサイド市民参加」事務局 TEL:045-662-6482(月～金※祝日の場合を除く:10時～17時) E-mail:hill-member@yokohama150.jp  
本紙の内容の一部または全部を無断で複製(コピー)することは、法律で定められた場合を除き、発行元の権利の侵害になります。